

明行寺新聞

会費収納会・茶話会・YOJYOMON・清掃奉仕ご報告、除夜&元旦会・報恩講・茶話会のご案内

吐く息の白さや、はらはらと散るイチヨウの黄色を眺めながら、もう一年が経ったのか、とやっぱり今年も思わずにはいられない12月。年の瀬にむけて、時間が加速していくようです。

先日、令和4年度下期の門徒会費収納会が終了しました。各地区にてご対応くださった講中方はじめ、ご協力くださったみなさまのお蔭様です。会費は役員方の手で確認、集計され、JAの門徒会計口座へと入金されています。門徒会のみなさまのお金です。年度末の決算報告にて用途をご確認ください。

茶話会「喫茶去・明行寺」では、10月に『はじめての正信偈』と題し、冒頭の二句「帰命無量寿如来南無不可思議光」を味わう会を実施しました。また、11月には昨年に引き続き整骨院ふじたの藤田東志院長をお招きし『血流が整う姿勢と食事術』として一人ひとりの姿勢をチェック、特徴別の筋トレ等を教わりながら、各々自分の身体と向き合う会となりました。その他、所縁の方々が50名以上訪れたイベントYOJYOMONについて、裏面をご一読くださいませ。久々に行われた婦人会の清掃奉仕には、住職と坊守が初参加。組内各寺の婦人会役員方と一緒に福岡教堂でお聴聞し、有難い学びの時間となりました。

さて、除夜会・元旦会が近づいています。一年の節目に、ぜひお参りください。昨年好評でした瓢箪ランプの展示とワークショップ（参加をご希望の方は住職まで）を今年も実施の予定です。一月には御正忌報恩講がございます。詳細を別紙にてご案内しておりますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。ご講師は、寂静寺（那珂川市）住職・佐々木龍明師です。12月の茶話会では、本堂が迫力の音響を備えた映画館になります。多忙な時ほど大切な非日常を味わいに、ぜひお運びくださいませ。

一年の締め括りを迎えて、一日の尊さが知らされ、本年に手が合わさることでございます。 合掌



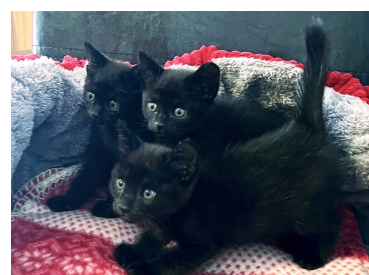
門徒会費収納会の様子



茶話会でストレッチ



今年も美しい蜜柑！



生後2ヶ月仔猫の里親募集中



思い思いに正信偈と向き合う



福岡教堂で奉仕&お聴聞



薫坊守白寿のお祝い



施設でお話と弾語りのご縁

12～1月の予定（新型コロナウイルスの影響を鑑みて以下の通りと致します）

【実施】 12月4日（日）8時～ 除草作業・おみがき @明行寺（担当地域：真弓下）

【中止】 12月10日（土）13時半～ 元中通組蠟燭講御消息披露法要 @光徳寺 ※住職方のみにて実施

【実施】 12月21日（水）14～17時 茶話会「第15回 喫茶去明行寺」@明行寺 ※お申込みは～12月18日（日）まで

【実施】 12月31日（土）23時半～ 除夜会・鐘撞き・竹と瓢箪の灯り展 @明行寺 ※暖かくしてお参りください

【実施】 1月1日（日）10時～ 元旦会 @明行寺 ※書き初めも行います

【実施】 1月9日（月）13時～ 瓢箪ランプワークショップ @明行寺 ※定員先着15名、お申込みは住職まで

【実施】 1月13日（金）8時半～ 御華束作り・竹藪清掃 @明行寺（担当地域：下伍位軒・講中・役員）

【実施】 1月15日（日）13時半～ 御正忌報恩講1日目 @明行寺（おまかない地域：湯谷南・大谷）※講中方は10時集合

【実施】 1月16日（月）13時半～ 御正忌報恩講2日目 @明行寺（おまかない地域：川床・四ヶ中原）※講中方は片付けあり

< 行事レポート 『YOJYOMON-夜聴聞-』 & 『第1回 法話のど自慢世界大会』 >

熊本のお寺の3名のお坊さんと、お茶の先生と、住職の雑談をきっかけに行われた『YOJYOMON』の参加者は50名を超え、その多くが明行寺には初めていらした方々でした。ハラハーモニーコーヒーさん、ポホヨラ洋菓子店さん、ごぱん屋うっでいーさん、日月茶会の本本智子さんがご出店くださり、口から気持ちが温まる夜。地域の葬儀社、あかりの杜さまのご協力のもと、空の中陰段と棺を設置し、住職と坊守によるお勤めを音楽にした御念佛ライブの間に、棺に入ったり、お焼香をしたりするインスタレーションを体験してもらったところ、大きな反響が。また参加したいとのお声が多くあり、興味深いひとときとなりました。

また、坊守がご本山にてお得度のご縁に遇いました。今日までお育てをくださったみなさまのお蔭様でございます。11日間の研修道場生活を終えて、お袈裟を身に着ける者として歩み始めたそのままその足で、かねてから広島県のお坊さん方と企画していた『第1回 法話のど自慢世界大会』に出演、ご法話とその内容にちなんだ一曲を歌う機会を賜りました。福山市の本願寺備後教堂で行われたこの新たな取り組みに多くのお同行がご一緒くださり、第2回の開催をご要望くださる多くの声援によって、また来年の9月に日本のどこかで実施する運びとなりそうです。これをきっかけに、住職と坊守のセットでお説教に呼んでくださるお寺もあり、明行寺に恥じぬよう一層精進せねばと気の引き締まる思いです。



YOJYOMONに大勢の来訪が



ハラハーモニーさんの出店



坊守お得度のご縁に遇い



法話のど自慢大会に出演



空の中陰段と棺を置いて



入ったり焼香をしたり



ご法話と併せて一曲披露



当日の様子はYouTubeで

== コラム「念珠を持ってお参りするのは、どうしてですか？」 ==

ご本尊の阿弥陀如来に礼拝するとき、欠かせない法具が念珠です。

念珠は、数珠ともいいますが、浄土真宗では念珠と表現されることが多いです。数珠は、珠の数によって、となえた念仏の数を確認するために珠を爪繰って用いますが、浄土真宗では念仏の回数を問題にすることはありませんので、珠を爪繰ったりしません。

本願寺の第八代・蓮如上人は『御文章』に、念珠を持たないで阿弥陀如来に礼拝するのは、仏さまを手づかみにするのと同じことであると戒められています。仏さまを手づかみにするとは、自分の都合によって仏さまと関わろうとしていることを表しています。蓮如上人は、自分が仏さまをとらえようとするのではなく、私たちが阿弥陀如来の慈悲の心に摂め取られていると受けとめること（他力の信心）が大切であると説かれています。そのありようが、念珠を持ってお参りをする姿となるのです。

念珠は大切な法具ですから、畳や床の上など歩行する場所に置いたり、念珠を持ったままトイレに行ったりしないよう気をつけましょう。

前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。通信教育部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『「ただ念仏」の教え—法然聖人から親鸞聖人へ—』『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことば—やさしい法話—』がある。明行寺住職が神奈川県の上正寺でお勤めていたご縁で出遇った恩師。

明行寺 ホームページアドレス
<https://www.myogyoji1620.com>

▼ 明行寺LINE ▼



YouTube



Instagram